

# 実際の避難行動を考慮した地域オリジナルの洪水対応の取組

～まるごとまちごとハザードマップの展開！！～

## 1. 経緯／概要

- 山形河川国道事務所では、近年全国各地で発生している大規模な水害を考慮し、命を守る行動を実践する施策の一つとして『まるごとまちごとハザードマップ』の取組を行っています。
- 山辺町の近江地区・三河尻地区の2地区で実施。
- 『まるごとまちごとハザードマップ』とは、市町などで作成される洪水ハザードマップの情報をまちなかに標示することで、地域の防災意識を高め、いざというときの安全かつスムーズな避難につながるものです。
- 主なポイント
  - 平成27年5月の水防法改正に伴い、『想定し得る最大規模』の降雨による洪水浸水想定区域を対象。
  - 実際の避難行動にあわせて自治会単位での取組。
  - 自らが看板設置等を通して我がこととして対応。

## 山辺町(近江・三河尻地区)検討会の様子

### 第1回検討会 (H30. 12. 11)

- ・ 想定浸水深看板設置箇所の確認
- ・ 避難する際の指標となるものの確認
- ・ 避難ルートを机上で想定

### 第2回検討会 (H30. 12. 19)

- ・ 看板設置箇所の確認。
- ・ 避難指標の想定

### 第3回検討 (H31. 3. 9, 10)

- ・ 現地看板設置、ご近所マップお披露目



避難ルート等を検討



現地にて設置箇所等の確認



現地案内看板の設置状況